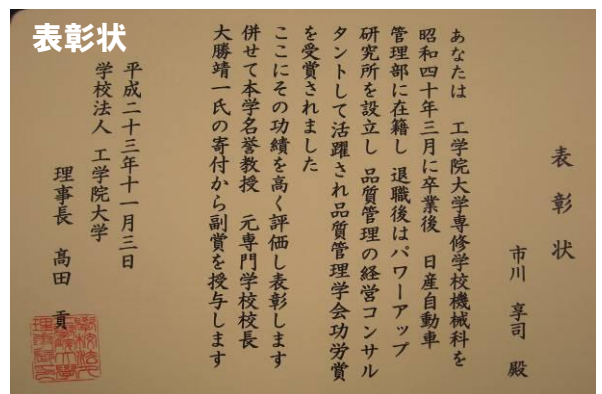


# It's a NEWS

制作：平成23年11月3日 Kaizen-Watcher 編集部

## 工学院大学元専門学校校長・大勝靖一氏の金員により創設された賞 パワーアップ研究所の“大勝靖一賞を受賞” 所長・市川享司氏



平成23年11月3日（木）午前10時半から新宿駅近くにある工学院大学新宿校舎3階《アーバンテックホール》で永年勤続者や優秀な学生、そして社会貢献をした卒業生を表彰する平成23年度表彰式があり、QCサークル京浜地区顧問でパワーアップ研究所所長の市川享司氏に“大勝靖一賞”が授与されました。

工学院学園の創立124年記念式典“第11回ホームカミングデー”で、学園の永年勤続表彰者、優秀学生や社会貢献活動を行った人たちなどを対象とした表彰式で授与されたものです。

市川享司氏の受賞は、長年の品質経営コンサルタント活動を通じて顕著な社会貢献をされてことが評価されています。

## パワーアップ研究所の市川所長“大勝靖一賞”を受賞



初めに学校法人工学院大学の高田 貢理事長が登壇し、開会挨拶を行いました。先の3月11日の東日本大震災では帰宅困難者が大勢出たため、工学院大学の1階アトリウムにも多数の方々を受入れ、災害時のために保存していた食料や水を提供し、支援を行ったほか、被災地へのボランティア活動も支援するなど、全学を上げて取り組んだことを紹介しました。続いて表彰式が行われました。



教職員の永年表彰に始まり、成績優秀学生・生徒表彰、日本機械学会や自動車技術協会、ロボット学会などからフェローなどを贈られたりIEEEに認められた教職員など、さらには先の震災の際に行ったボランティア活動など社会貢献活動などに対して大学表彰が行われました。



そして工学院大学名誉教授で、元専門学校校長の大勝靖一氏から寄附された金員を基に設けられた“大勝靖一賞”では、社会での著しい業績を上げた人を対象に授与されるもので、毎年2名の卒業生が選ばれます。本年は4回目になります。



右から2人目が市川享司氏。日産自動車村山工場の検査部はじめ、本社品質管理部で、品質管理・全社QCサークル推進事務局を担当し、退職後は、パワーアップ研究所を設立し、現場の品質管理、方針管理、改善活動、QC手法、目で見える管理、儲かる5S、ヒューマンエラー防止策などと幅広く研修・指導され、日本国内の企業だけではなく、中国や東南アジア諸国でも教育・啓蒙活動を展開されていることが高く評価されています。



“大勝靖一賞”は市川享司氏と一緒に受賞された矢島 強さんが代表で表彰状を受け取りました。

最後に学校法人工学院大学に対して多額の寄付などを行い、教育研究事業の充実などに貢献した個人に対する名誉賛助員などの称号贈呈が行われ、第一部の表彰式の部は終了し、続いて大学学事報告、並びに附属中学校、高等学校の学事報告がそれぞれの校長から行われました。

# パワーアップ研究所の市川所長 “大勝靖一賞” を受賞



大学学事を報告する永野明哲学長



日本初の「建築学部」の創設など、工学院大学の躍進の様子を報告しました。

また来年が125周年となることから、この日午後、キックオフのイベントが開催されました。



附属中学校・高等学校の学事を説明する宮下正照校長



続いて工学院大学八王子キャンパス隣にある工学院大学附属中学校や高等学校の学事が報告されました。



表彰式終了後の記念撮影